



※  は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。



映画「永遠の0」 入場者が5,000人を突破

リナシアターで上映された映画「永遠の0」が、最終日の4月4日に過去最高の5,006人の入場者数を記録しました。

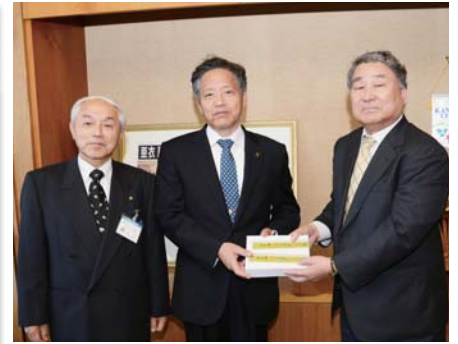
5,000人目を記録したのは、これで3度目の鑑賞となった曾田^{たけし}彪さん。「素晴らしい映画に巡りあうことができました」と話され、記念品としてまちづくり鹿屋から花束と「永遠の0」焼酎が手渡されました。



鹿屋の食材を堪能し、 体育大学での活躍を誓う

4月4日、リナシティかのやイベント広場で「鹿屋体育大学新入生歓迎会」が開催されました。

18回目を迎えた歓迎会は、地域づくり交流事業実行委員会が毎年行っており、市内33団体が新入生を歓迎。かのやカンパチや鹿児島黒牛、黒豚など地元の食材を使った料理が振舞われ、参加した新入生183人は、鹿屋の味を堪能し、今後の飛躍を誓いました。



交通標識入りの 定規を寄贈

3月28日、県トラック協会鹿屋支部の関係者が市役所を訪れ、交通標識入りの定規1,111本を各小学校に寄贈しました。

これは、新入学児童の交通事故防止に役立ててもらおうと毎年県下全域の新1年生を対象に配布しているもので、「定規を使うことで児童に交通標識を覚えてもらい、交通安全のルールを覚えて欲しい」と話していました。



ばら祭り、エアメモの 記念切手を発売

4月24日、記念切手発売にあわせて日本郵便の職員が市役所を表敬訪問しました。

この切手は「かのやばら祭り2014春」と「エアメモリアルinかのや2014」の開催を記念して発売されたもの。

桑波田郵便局長は「全国の人に鹿屋の名前を知って欲しい」と話しました。切手は7月23日まで鹿屋市内の郵便局で販売されます。



子育て支援に役立てて

4月22日、山佐産業株式会社から鹿屋市に200万円の寄附がありました。

これは、創業65周年を迎えた同社が「将来を担う子どもたちのために役に立ちたい」「地域の皆さんへ感謝の気持ちを伝えたい」との思いから、支店のある本市に寄附されたもの。寄附金は、御社からの要望で子育て支援に関する事業に活用していきます。



転倒防止に役立ててと 踏み台を寄贈

4月10日、市役所で「在宅高齢者用踏み台贈呈式」が行われ、鹿屋建具木工組合から市に踏み台45台が寄贈されました。

これは、平成13年度から同組合が足腰の弱い高齢者に、玄関や台所などでの転倒防止に役立ててもらおうと行っているもの。川畑裕次郎組合長は「足腰の弱い高齢者の生活に役立ててください」と話していました。